

道徳科学習指導案

令和3年1月19日（火） 第2学年1組（2年1組教室） 指導者 栗原 和馬

【主 題】 がんばる力「おりがみ名人」（内容項目A5「希望と勇気、努力と強い意志」）

考察	道徳的諸価値についての理解	自己の生き方についての考え	道徳性 (道徳的判断力、道徳的心情、道徳的实践意欲と態度)
育成を 目指す 資質能力	「自分で決めたことをしっかり行うこと」について、自分の生活経験や教材の主人公の気持ちや行為を基に、友達や教師と話し合い「自分で決めたことをしっかり行うこと」のよさに気付くことで、自分で決めたことをしっかり行って生活し、自分を成長させていこうとする道徳的实践意欲と態度を養う。		
児童の 実態	「自分で決めたことをしっかり行うこと」が正しいということは理解している。 - 自分で決めたことをしっかり行うと自分が成長できることは理解していない。	- 家族や教師から言われて行うことが多く、努力している自分に気付いていない。 - 自分で決めたことをその時の状況や気分ですっかり行えないことがある。	- 興味がある物事には進んで取り組もうとする。 - つらいことや苦しいことがあると物事に取り組めなくなることがある。
価値	「自分で決めたことをしっかり行うこと」はよいことである。なぜなら、「自分で決めたことをしっかり行うこと」で一人の人間として自立し、常に自分自身を高めていくことができるからである。しかし、低学年の児童は、一度つらいことや苦しいことがあると自分で決めたことを諦めてしまうことがある。そこで、児童がつらいことや苦しいことを乗り越えるためにも、「自分で決めたことをしっかり行うこと」のよさに気付くことが大切である。 - 自らつるを折ることを決め、道徳の授業に向けて何度もつるを折った主人公の姿から「自分で決めたことをしっかり行うこと」についての問題意識をもつことができる。また、自分で決めたことをしっかり行う主人公の気持ちを自分の経験と照らして考えることで、やり遂げた時に喜びや嬉しさを味わえることに気付く。また、話し合いを進める中で、自分で決めたことを最後まで取り組むことで自分自身が成長することに気付き、自分で決めたことをしっかり行おうとする気持ちを高めていくことができる。		
見方・考え方	「自分で決めたことをしっかり行うこと」を自己との関わりで多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えること		
今後の学習	3年「ぼくらは小さななかにはかせ」での苦手なことにも努力して取り組むことの大切さについて考える学習へと発展していく。		
他の教育活動 との関連	「自分で決めたことをしっかり行うこと」について 例：自主学習ノートへの取り組み方を考える場面、自分がめあてと決めた学校生活の場面		

本時の学習（１／１時間目）

ねらい 「自分で決めたことをしっかり行うこと」のよさについて話し合うことを通して、決めたことをしっかり行うと自己の成長につながることに気づき、自分で決めたことをしっかり行って自分を成長させていこうとする道徳的実践意欲と態度を養う。

評価の視点 「自分で決めたことをしっかり行うこと」のよさについて、生活経験や主人公の立場や自己の経験から考えるなど、多面的・多角的に考えたことを、発言したり記述したりしている。 <発言・タブレット>

学習活動と児童の意識	指導上の留意点
１ 教材を読み、学習課題をつかむ。 ・主人公はがんばって何度もつるを折ったのだな。ぼくも習い事では、いつも長い時間練習しているけれど、大変なんだよな。主人公やみんなは、なんでがんばるのかな。（問題意識）	○本時のねらいとする道徳的価値への方向付けができるよう、自分で決めてがんばっていることを問いかけ、タブレットに書くよう促す。 ○「自分で決めたことをしっかり行うこと」についての問題意識をもてるよう、教材「おりがみ名人」の範読後、主人公の行為とその理由について問いかける。
学習課題：どうしてがんばるのだろう	
２ 学習課題の解決に向けて話し合う。 ・ぼくも、ピアノの発表会に向けてがんばったことがあるな。その時は、大変だったけれど終わった後にうれしかったな。 ・友達は、なりたい仕事のために、勉強がもっとできるようになりたいから、がんばりノートで、毎日、かけ算の計算問題を１０問解いているのだな。 ・主人公は何度もつるを折って、途中でやめたくなったのではないかな。 ・この前のピアノの発表会に向けて新しい曲を毎日練習して、本番でうまく弾けたときは、自分もやればできると思ったな。 ３ 学習課題を解決し、これからしていきたいことについて考える。 ・自分で決めたことを、続けることは大変だけれど、やはり、がんばると自分の成長につながるのだな。（問題を解決した意識） ・これからは、がんばれば、ピアノで新しい曲を弾けるようになれるから、練習は少し大変だと思っても続けていきたいな。自分の成長のためにがんばろう。	○学習課題に対する自己の考えを多面的・多角的にできるよう、タブレット上に挙げられている友達の考えを見て、学習課題に対する考えを聞きに行くよう促す。 ○学習課題に対する考えを学級全体で共有できるよう、参考になった友達の考えや友達に伝えたい自己の考えを問いかける。 ○自分で決めたことをしっかり行うことの難しさに気付けるよう、何度もつるを折り続けた主人公の気持ちについて問いかける。 ○決めたことをしっかり行うと自分の成長につながることに気付けるよう、最後までやり遂げた経験と、できるようになったことを問いかける。 ○学習課題に対する自己の考えをより深められるよう、個別やクラス全体で話し合った考えを取り入れながら、学習課題に対する自己の考えを書くよう促す。 ○学習したことと、これからの生活とを結び付け、これからの生活への見通しがもてるよう、「これからしていきたいこと」の視点を提示する。 ○これからの生活への意欲をもてるよう、生活の見通しを具体的にもてたことを称賛する。

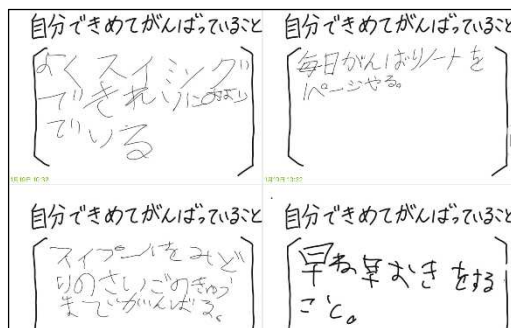
授業の振り返り	※授業中の様子は、本校 HP でも紹介しています。 【教育研究→令和2年度提案・部内授業の様子】
---------	---

機器	タブレット（1人1台）、大型モニター
使用アプリ	ロイロノート
機能等	提出箱（共有・比較）

○実際の授業の流れと児童の様子

【導入】 児童は、自分で決めてがんばっていることを想起し、「スイミング」「がんばりノート」「お手伝い」など、多様な意見を出した。次に、「おりがみ名人」という教材を読み、主人公も自分もがんばっていることに気付いた。そして、「大変なら、がんばらなくてもよいのではないか」という教師の問いかけに対して「大変だけれど、やらなくてはいけない」と多くの児童が答え、がんばることの理由についての問題意識をもち、「どうしてがんばるのだろう」という学習課題を立てた。

【展開】 ここで、導入時に考えた自分で決めてがんばっていることの回答を共有し、児童は、クラスの友達の自分で決めてがんばっていることの具体的な内容を知った。次に、友達から、「バタフライを泳げるようになりたいから」「テストで100点をとりたから」などのがんばる理由を聞いた。そして、自分の考えに付け足しをしたり、自分の考え



<自分で決めてがんばっていること>

を変えたりして友達に伝えていた。これは、タブレットで共有をすることにより、友達の考えに興味をもち、他者と伝え合う中で、自分の考えを多面的・多角的にした姿だと考えられる。しかし、共有をした際に、タブレットに端的に記されていないものもあり、他者の考えを把握するのに時間がかかって

しまう様子も見られた。

その後、学級全体で学習課題に対する考えを出し合い、「人の役に立ちたいから」「自分に役立つから」「自分がうれしいから」といった意見が出された。また、「主人公はだれのためにがんばったのか」という教師の問いかけに対して「クラスのため」「お母さんのため」といった自己の経験と照らした意見が出された。

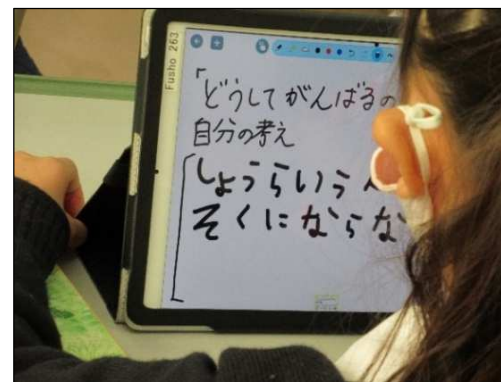
【終末】 本時で学習したことを踏まえて、学習課題に対する考えをタブレットに書いた。児童は、個別・学級全体の話合いをもとに自分なりの考えをまとめた。児童の中には、提出箱の友達の考えを眺め、うなずく児童も見られた。また、友達の考えとの比較をする中で、自分の考えに友達の考えを付け足して再提出する児童も見られた。これは、タブレットに視覚化された友達の考えを取り入れ、自分の考えをより確かなものにできた姿であると考ええる。

○授業改善に向けて

- ・回答の共有を行うことで、他者の考えに触れ、自分の考えを多面・多角にできる。ただ、他者の考えを短時間で把握しやすくするために、タブレットに書く内容を吟味していく必要がある。



<学習課題に対する考えを伝え合う様子>



<学習課題に対する考えを書く様子>